

2019年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留学先	マレーシア アジアパシフィック大学		
留学先での所属	APLC Intensive English Course Level 6		
派遣期間	2019年8月～2020年1月		
滞在先	学生寮（学外）		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 観光ビジネスコース	派遣時学年	1年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

5か月の留学生活は本当に色々なことを体験し、そこから深く考え、学ぶことが出来た。APLCの先生方はとても英語が流暢で、発音もきれいだった。教え方もクラスで楽しんで高め合いながら英語を使おうという方針で、とても充実していた。また先生方は分からないときは携帯の翻訳アプリを使うのではなく直接聞いて欲しい、どんなに小さいことも分かるまで丁寧に教えると言って下さり、積極的に聞くことが出来た。授業の指示が全て英語なので、聞き取れないとついていけない危機感があり、集中するため、意味をとらえる力が身についたと思う。

またAPLCには世界各国からの留学生が来ており、エジプト、ソマリア、マダガスカル、モロッコなど初めて出会う国からの留学生と友達になることができ、それぞれの国について知ることが出来た。仕事を一度中断して大学院に通うためにAPLCに通っている方も多、就職後に仕事だけではなく自分のレベルアップのために学ぶこともできることを知り、自分の視野が広がった。

レベルごとにあるイベントのお陰でクラスの中はもちろんのこと、違うクラスの学生とも仲良くなることが出来た。先生たちが率先して盛り上げる雰囲気を作ってくれたため、学生も盛り上がる事が出来た。

生活面では、マレーシアの人はみんなとてもフレンドリーで、日本人ということでよく話しかけてくれ、日本は好かれているんだと感じた。夜市などで高いものを交渉して値下げしたり、道が分からなくなった時、積極的に人に話しかけたり、初めてする経験に対して自ら関わろうと思って行動できたことも良かった。

マレーシアは様々な国々から人が来ており、多様な文化が入り混じっており、地域ごとに全く違った文化を味わうことが出来た。チャイナタウンに行けば中国に行ったような気分になり、インド人街に行けばインドに行ったような雰囲気を味わうことが出来たのは面白かった。また、マレーシア特有の文化である、ニョニャ文化を体験することができ、やはり新しい文化を体験することは価値観や視野を広げるために重要だと改めて思った。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

マレーシアでは様々な文化を体験でき、物価も安く、様々なことにチャレンジしやすい環境だと思いました。また、マレーシアは今まさに発展の途中なので、変わりゆく街の変化を楽しむことができます。楽しみながら、学びつつも、やはり何が起こるかわからないと思うので油断は大敵だと思います。しかし、万全な準備をして気を付けていて、何かが起こってしまう時はあるので、その時は周りに力を求めることが大事だと思います。私も苦しい時がありましたが、友達や家族、学校の方々、周囲の方々に支えてもらった事で乗り越えることができました。

また、思っていることがうまく伝えられなかったり、周りのクラスメイトと自分の英語力の差に落ち込んだときもありました。しかし、一步一步上達していると信じ努力することが大事なことに改めて気づくことが出来ました。辛いこともありましたが、留学したことを後悔したことはありません。楽しいことも辛いことも全て自分の経験として活かされていくと思うので是非色々チャレンジしてもらいたいです。